

## ■その他

## 書評「メイドインふくしま」

Book Review: "Made in Fukushima"

登尾 浩助<sup>1</sup>Kosuke NOBORIO<sup>1</sup>

おしゃれな表紙を開くと、コリン・キャンベル博士の日本語版によせてが目に入る。小さなことであっても一人ひとりの力で状況を変えることができる事例として飯館村の試みがあり、再生に向けて果敢に努力を続けている人々の努力によって美しい飯館村に平和が訪れるよう願うと結んでいる。事故直後から現地を訪れていた彼の言葉だからこそ、逆境の中で希望を失わずに進み続けた人々への優しさと労りを感じる。この本は、彼の親友である東大の溝口勝教授の安全性を証明している科学的データを誰でも理解できる方法で伝える必要があるとの言葉を具現化した一例であろう。事故直後の2012年に溝口教授に案内されて飯館村を訪れた際の思いから始まり、キャンベル博士の故郷であるワシントン州プルマンと父親であるゲイロン・キャンベル博士が創業したデカゴン社を紹介した後、同じワシントン州内にありゲイロン・キャンベル博士が関わった核廃棄物長期保管施設であるハンフォードサイトを紹介している。飯館村を訪れるために来日する際には、恐らく父親がハンフォードサイトで放射能に関わっていたことを何かの縁と感じていたのではないだろうか。本は、放射能に関する基礎知識をデータ(数値)と図を併用して解説し、5章からさまざまなデータと共に福島県各地を訪問した際の写真と交流した人々の言葉が続いていく。特に、稲作に着目して本書を編集したことを6章の始まりに「日本は瑞穂の国です。」と飯館村の菅野宗夫さんの言葉を使って象徴させている。日本語版にはコリン・キャンベル博士を招聘して案内した溝口教授によって名前の思い違いなどが適宜訂正されているので、単なる紀行というよりも原発事故直後の記録としての価値もありそうである。事故直後から福島県を訪問しているアメリカ人土壌物理学者が、データを伝える工夫を凝らして著した本書は一読の価値がある。

## メイドインふくしま

コリン・キャンベル / クエンティン・リクトプラウ(著)  
ニック・フランク(写真)  
溝口 勝(訳編著)

発行日：令和3年2月15日

発行所：東方通信社

価格：1,800円(+消費税)

メール申込用QRコード

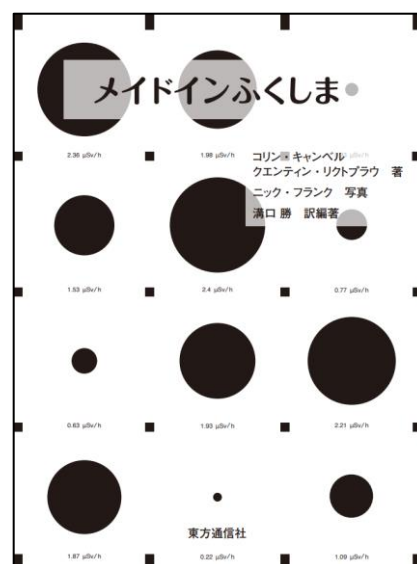


申込先：東方通信社 / 〒101-0054 東京都千代区神田錦町1-14-4

電話 03-3518-8844 FAX03-3518-8842

〈申し込み方法〉 ※アマゾンでもご購入いただけます

東方通信社に電話でお申し込みいただくか、  
メールの件名に「メイドインふくしま購入希望」と明記の上  
ご住所、お名前、電話番号、ご希望の冊数をお送りください。

<sup>1</sup> 明治大学大学院農学研究所<sup>1</sup> Graduate School of Agriculture, Meiji University